

令和6年度 実行計画

鈴鹿市教育振興基本計画

回鈴鹿市小学校



鈴鹿市 / 鈴鹿市教育委員会

目次

1	はじめに	1
2	取組内容一覧	2
3	取組内容	
	【1 確かな学力を身に付け、グローバルな視点で主体的に未来を創る子どもの育成】	
(1)	1-1 学力向上	3
(2)	1-2 教育DXの推進	4
(3)	1-3 英語教育	5
(4)	1-4 読書活動	6
(5)	1-5 就学前からの一貫した学びの充実	7
(6)	1-6 キャリア教育及び主権者教育	8
(7)	1-7 自ら学ぶ子どもの育成	9
	【2 自己肯定感を高め、多様性を認め合う子どもの育成】	
(8)	2-1 不登校対策	10
(9)	2-2 いじめ防止対策	11
(10)	2-3 生徒指導	12
(11)	2-4 人権教育	13
(12)	2-5 特別支援教育	14
(13)	2-6 日本語教育及び多文化共生教育	15
(14)	2-7 道徳教育	16
	【3 心身の健康を自ら育み、豊かな感性を身に付けた子どもの育成】	
(15)	3-1 心身の健康と食に関する教育	17
(16)	3-2 文化・芸術活動	18
(17)	3-3 安全・安心で安定的な学校給食の提供	19
	【4 家庭・地域とともに子どもの成長を支える教育環境づくりの推進】	
(18)	4-1 休日の部活動地域移行	20
(19)	4-2 地域とともにある学校づくり	21
(20)	4-3 安全・安心の学校づくり	22
(21)	4-4 郷土教育及び環境教育	23
	【5 学校環境の整備・充実】	
(22)	5-1 学校規模の適正化	24
(23)	5-2 施設等の環境整備	25

1 はじめに

(1) 実行計画

教育基本法第17条第2項の規定に基づき、令和6年度から令和9年度までを計画期間とする教育の振興のための施策に関する基本的な計画として、鈴鹿市教育振興基本計画（以下「基本計画」という。）を令和6年4月に策定しました。この基本計画では、「めざす子どもの姿」を実現させるため、基本理念のもと3つの基本目標を設定し、その目標の具現化のために、子どもと地域のあるべき姿として、5つの施策の基本的方向を設定しています。

基本計画の実行計画は、5つの施策の基本的方向の下、実施される各基本事業の取組に係る単年度の行動計画をまとめたものです。

(2) 基本計画の進行管理

基本計画を効果的に推進し、継続的な改善を図るために、「めざす姿」と活動指標（または成果指標）を設定し、計画・実行・確認・改善のサイクルを繰り返しながら、事業の振り返りや見直しを図り、より実効性が担保できるようにします。具体的には、実行計画に沿った活動結果を地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」に基づき、進行管理を行い、学識経験者による評価を経て市議会や市民へ公表します。

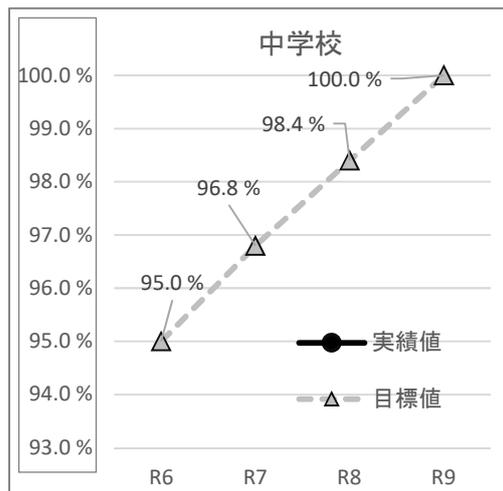
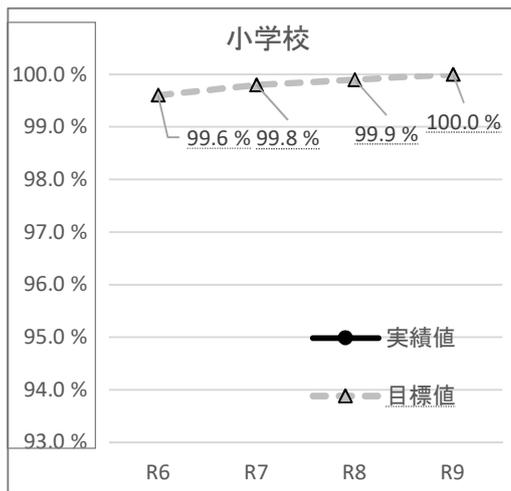


2 取組内容一覧

No.	基本事業	取組内容	指標	現状値	令和6年度 目標値	令和9年度 目標値	担当課
1	1-1 学力向上	①「授業力UP5★」を活用した授業改善 ②ICTを活用した学びの促進 ③読解力の育成に向けた取組 ④学力向上プロジェクト会議を通じた市内共通取組の推進	全国学力・学習状況調査の国語・算数/数学における、全国の平均正答率に対する本市の平均正答率の割合【全国学力・学習状況調査】	小学校 99.5% 中学校 93.5%	小学校 99.6% 中学校 95.0%	小学校 100%以上 中学校 100%以上	教育指導課
2	1-2 教育DXの推進	①情報活用能力の育成 ②情報モラル教育の充実 ③ICT活用推進プロジェクト会議による組織的推進体制の構築	「授業でPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用したか」という問いに「ほぼ毎日」と回答した児童生徒の割合【児童生徒質問紙】	31.0%	48.3%	100.0%	教育指導課 教育支援課 教育政策課
3	1-3 英語教育	①「CAN-DORIST」を踏まえた英語教育の推進 ②ICTを活用した新たな学びの創造 ③外国語指導助手の活用	中学校卒業段階でCEFRのA1レベル相当（英検3級など）以上を達成した中学生の割合【英語教育実施状況調査】	26.5%	32.4%	50.0%	教育指導課
4	1-4 読書活動	①不読率の低減 ②デジタル社会に対応した読書環境の整備 ③多様な子どもたちの読書機会の確保 ④子どもの視点に立った読書活動の推進 ⑤鈴鹿市立図書館との連携	「読書は好きか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【児童生徒質問紙】	小学校 69.7% 中学校 61.1%	小学校 70.0% 中学校 62.0%	小学校 71.0% 中学校 65.0%	教育指導課
5	1-5 就学前からの一貫した学びの充実	①円滑な接続のための連携の強化 ②子どもたち同士の交流の促進 ③小中一貫教育の実践 ④教職員同士の交流や研修体制づくりの推進 ⑤幼稚園・保育所の連携	「近隣の校種の違う学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行ったか」という問いに「よく行った」「どちらかといえば行った」と回答した学校の割合【学校質問紙】	80.0%	82.5%	87.5%	教育指導課
6	1-6 キャリア教育及び主権者教育	①キャリア教育の充実 ②主権者教育の充実	「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【児童生徒質問紙】	72.1%	74.1%	80.0%	教育指導課 教育支援課
7	1-7 自ら学ぶ子どもの育成	①子どもが自ら学ぶとする学習の創造	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができているか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【児童生徒質問紙】	78.1%	81.0%	90.0%	教育指導課
8	2-1 不登校対策	①学校支援体制の充実 ②安心できる学び場づくり ③教育支援センターの運営 ④関係機関との連携	全国の長期欠席人数の割合を100とした時の鈴鹿市の長期欠席人数の割合の値【児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査】	122	120	100未満	教育支援課
9	2-2 いじめ防止対策	①いじめ防止の推進 ②早期発見、早期対応 ③相談体制の充実	「いじめをしない・させないよう、友だちとともに考え、行動しているか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【学校アンケート（児童生徒）】	88.0%	89.2%	93.0%	教育支援課
10	2-3 生徒指導	①組織的な生徒指導体制づくり ②児童生徒による主体的な取組 ③関係機関などとの連携	「学校やクラスのルールやきまりを理解し守ることができているか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【学校アンケート（児童生徒）】	92.8%	93.6%	96.0%	教育支援課
11	2-4 人権教育	①学校・園における人権教育の推進 ②鈴鹿市人権教育センターを拠点とした人権教育の推進	「差別をなくすために何かできることをしたいか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【学校アンケート（児童生徒）】	90.7%	91.6%	94.0%	教育支援課
12	2-5 特別支援教育	①途切れない支援体制の充実 ②通級による指導の充実 ③特別支援教育プロジェクト会議による方向性の検討 ④特別支援学校や関係機関と連携した教育	全児童生徒において、個別の指導計画を作成している児童生徒の割合【三重県独自調査】	7.3%	8.5%	12.0%	教育指導課
13	2-6 日本語教育及び多文化共生教育	①日本語教育支援体制の充実 ②一人ひとりに応じた適応支援 ③多文化共生に関わる授業づくり ④外国人児童生徒の就学支援・キャリア教育の充実	「多くの国の人と友だちになったり、自分の国以外の国のことについてもっと知ったりしてみたいと思うか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【学校アンケート（児童生徒）】	84.5%	85.9%	90.0%	教育支援課
14	2-7 道徳教育	①道徳科の授業改善 ②学校教育活動全体を通じた道徳教育の推進	「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいるか」という質問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【児童生徒質問紙】	82.6%	83.7%	87.0%	教育指導課
15	3-1 心身の健康と食に関する教育	①日常的な体育活動の推進 ②健康課題を解決するための取組の推進 ③食育の推進	運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは「好き」「やや好き」と回答した児童生徒の割合【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】	86.4%	87.3%	90.0%	教育指導課 学校教育課
16	3-2 文化・芸術活動	①芸術活動の推進 ②「未来応援人」の活用推進 ③ICTを活用した文化・芸術教育の充実	「未来応援人」を活用した学校の割合	67.5%	80.0%	85.0%	教育指導課
17	3-3 安全・安心で安定的な学校給食の提供	①安全・安心な学校給食の提供 ②給食調理施設・設備の適切な維持管理等の推進 ③学校給食を通じた地域貢献と食への関心の醸成	中学校給食における副菜の残菜率	11.6%	10.7%	8.0%	教育総務課
18	4-1 休日の部活動地域移行	①地域移行に向けた調査研究 ②モデル事業の実施 ③体制の構築	休日の部活動地域移行実施率（全部活動のうち、休日の移行ができた部活動の割合）【独自調査】	0.0%	46.6%	100.0%	教育指導課
19	4-2 地域とともにある学校づくり	①「協働型」コミュニティ・スクールの活性化 ②コミュニティ・スクールの推進 ③地域とともにある学校づくり	「学校と地域が連携した取組が行われているか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した保護者の割合【学校アンケート（保護者）】	86.3%	87.9%	93.0%	教育支援課
20	4-3 安全・安心の学校づくり	①交通安全、防犯、防災・減災教育の充実 ②家庭、地域及び関係機関などと連携した安全確保の推進 ③通学路の安全確保	「危険なことから自分たちを守るため、安全な行動を取っているか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【学校アンケート（児童生徒）】	93.1%	93.8%	96.0%	教育支援課 教育指導課
21	4-4 郷土教育及び環境教育	①地域人材や社会教育施設等を活用した地域学習 ②地域教材の開発と活用	「今住んでいる地域の行事に参加しているか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【児童生徒質問紙】	51.2%	55.9%	70.0%	教育指導課
22	5-1 学校規模の適正化	①学校規模適正化・適正配置の検討 ②学校再編計画の策定 ③小中一貫教育に適した学校施設の在り方の検討	再編計画の策定数	1	1	2	教育政策課
23	5-2 施設等の環境整備	①学校施設等の整備と適切な維持管理 ②屋内運動場の空調設備の設置推進 ③トイレの洋式化の推進	屋内運動場に空調設備を設置した学校の割合	7.5%	52.5%	100.0%	教育政策課 教育総務課

施策の基本的方向	1 確かな学力を身に付け、グローバルな視点で主体的に未来を創る子どもの育成
基本事業	1-1 学力向上
指標	全国学力・学習状況調査の国語・算数/数学における、全国の平均正答率に対する本市の平均正答率の割合【全国学力・学習状況調査】

1 指標の目標等



現状値（2023年度）	小学校 99.5%
	中学校 93.5%
今年度目標値	
	小学校 99.6%
	中学校 95.0%
目標値（2027年度）	小学校 100%以上
	中学校 100%以上

2 今年度の活動計画等

◆年間の活動計画

●学習指導要領がめざす資質・能力の育成に向け、授業改善のための5つの視点（授業力UP5★）を取り入れた授業改善の取組を一層推進します。そのため、指導教諭等を活用した「授業改善研修会」を開催し、モデル授業を行い、めざす授業の具現化を図ります。また、児童生徒の1人1台端末の活用促進を通して「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を図るために、「授業力UP5★」を見直し、市内全校に周知します。

●読解力向上を図るため、令和5年度「本を読もう！読書活動推進事業」において実施した、モデル校における学校図書館を活用した授業実践（小学校）を市内の全小学校に展開するとともに、中学校においても同様の取組を取り入れた授業を実施します。また、「読む・書くワークシート」及び「よむ・YOMUワークシート」に市全体で取り組み、活用方法の好事例を発信します。

●これまでの教育で培ったものとICTの最適な組合せを取り入れることにより、市全体の学力向上を推進します。そのために、年3回のプロジェクト会議を開催し、市全体の学力向上に向けた方針及び共通取組を協議するとともに、成果や課題を市全体に還流します。

●学力向上支援員を活用し、経験年数の浅い教員の指導力向上をめざすとともに、若手教員同士が学び合うことができる体制を整備します。

◆今年度目標値の設定根拠

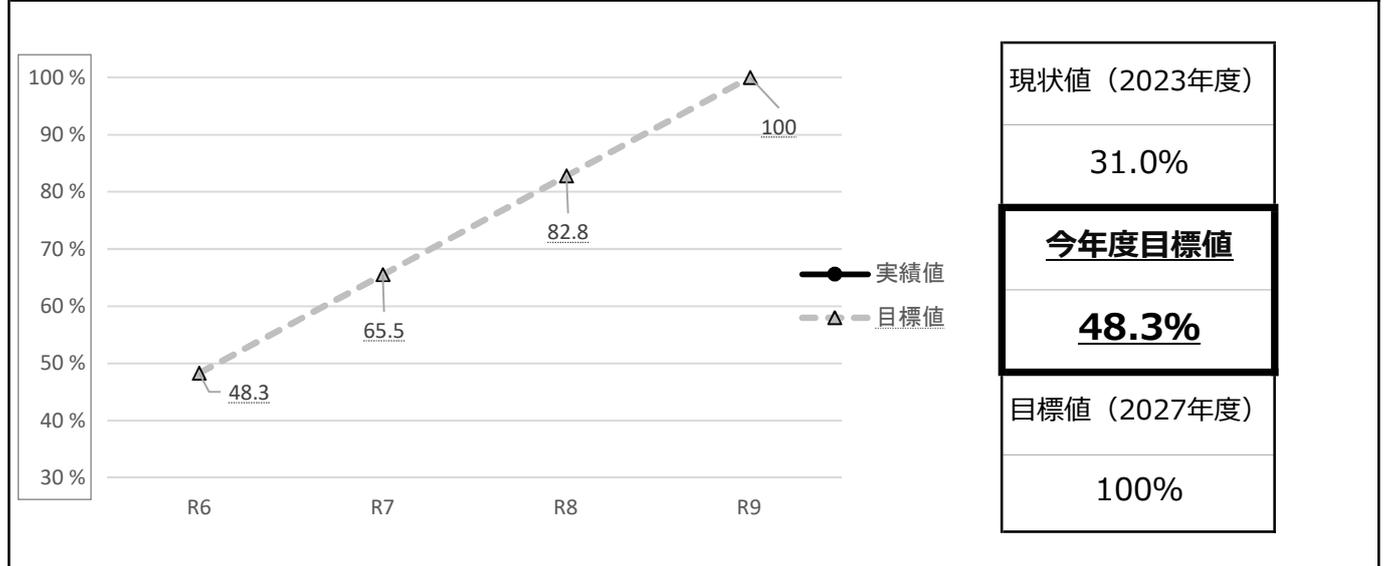
2027年度目標値達成に向けて、現状値からの差で小学校は目標値を99.6%、中学校は95.0%とそれぞれ設定した。

3 関連する総合計画2031の実行計画

実行計画番号	事業名
12102	教育研究推進支援事業
12104	学力向上支援事業
12106	小学校教育推進事業
12108	中学校教育推進事業

施策の基本的方向	1 確かな学力を身に付け、グローバルな視点で主体的に未来を創る子どもの育成
基本事業	1 - 2 教育DXの推進
指標	「授業でPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用したか」という問いに「ほぼ毎日」と回答した児童生徒の割合【児童生徒質問紙】

1 指標の目標等



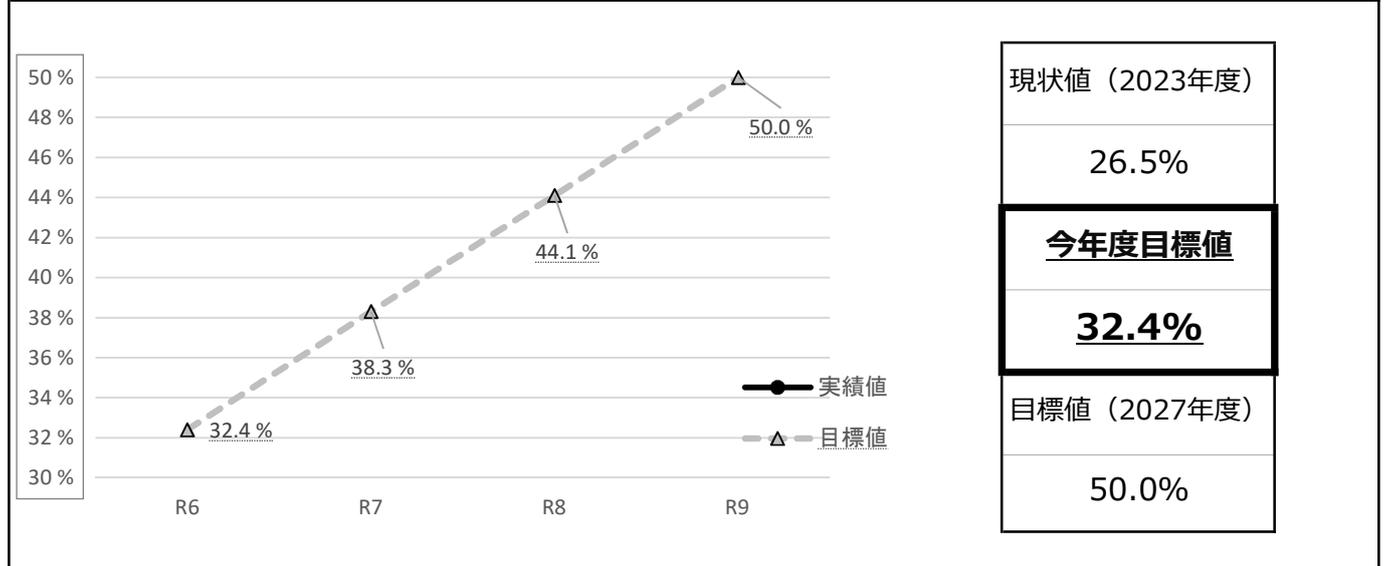
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 授業改善に向けて「鈴鹿市版 情報活用能力体系表」の見直しを行います。
 - 授業における端末活用の量から質へのより一層の転換を図るため、指導主事が市内全小中学校に訪問し、情報教育推進担当者や学力向上担当者と面談を行うとともに、ICT活用も含めた子ども主体の授業が展開できるよう、各校ごとに教職員研修を行います。
 - 教職員がICT教育先進地を視察できるよう情報提供を積極的に行うとともに、市内におけるICT教育に係る公開授業への参加を促します。
 - ICT教育に係る中学校区の連携をさらに強化するために、定期的な担当者会を開催します。
 - デジタル技術を活用した校務DX化を進めるために、教育委員会が運営するウェブサイトを活用しながら、働き方改革及びデジタル教材に係る情報発信を行います。
 - 児童生徒の適切な端末利用及び情報モラル教育の充実を図るため、発達段階に応じた出前授業等を行います。
 - デジタル教科書の効果的な活用方法等について、好事例を担当者会等で周知します。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画	
年間17.25ポイント増を目標とすることで、令和9年度の目標値である100%を達成する設定を行った。	実行計画番号	事業名
	12104	学力向上支援事業
	12151	教育情報化推進事業

施策の 基本的方向	1 確かな学力を身に付け、グローバルな視点で主体的に未来を創る子どもの育成
基本事業	1 - 3 英語教育
指標	中学校卒業段階でC E F R（セファール）のA 1レベル相当（英検 3 級など）以上を達成した中学生の割合【英語教育実施状況調査】

1 指標の目標等



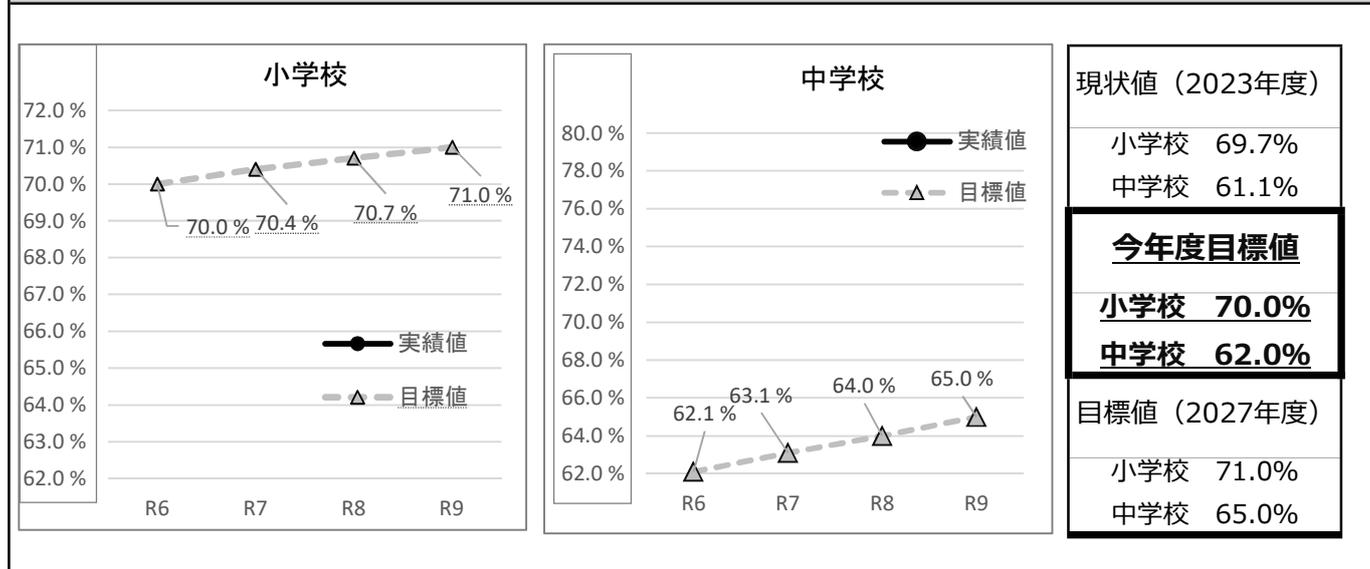
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 言語活動を充実させた授業づくりを進めるために、児童生徒の達成状況を把握し、「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を踏まえた、各種パフォーマンステスト（面接・エッセー・スピーチ等）を適切に実施します。
 - 「英語によるコミュニケーション」中心の学習を行うため、外国語指導助手（ALT）を効果的に活用し、児童生徒に「生きた英語」を提供するとともに、日常的に即興で伝え合う活動を実施します。また、従来の紙の教科書と併用した学習者用デジタル教科書の活用及び学校外とのオンラインによる遠隔交流を実施します。
 - 英語教育の充実に向けた授業改善を推進するため、「英語教育担当者会」を活用し、小中連携に係る中学校区ごとの先進的な取組の発信やモデル授業の公開などを行います。
 - 外国語によるコミュニケーションを図る資質・能力の育成をめざして、天栄中学校区において、国際化教育指導員を活用し、授業外でも日常的に英語に触れる機会を確保します。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画 2 0 3 1 の実行計画
現状値と目標値の差を踏まえて、年間およそ5.9ポイントずつの増加をめざして設定した。	実行計画番号 事業名
	12101 国際化教育推進事業

施策の基本的方向	1 確かな学力を身に付け、グローバルな視点で主体的に未来を創る子どもの育成
基本事業	1-4 読書活動
指標	「読書は好きか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【児童生徒質問紙】

1 指標の目標等



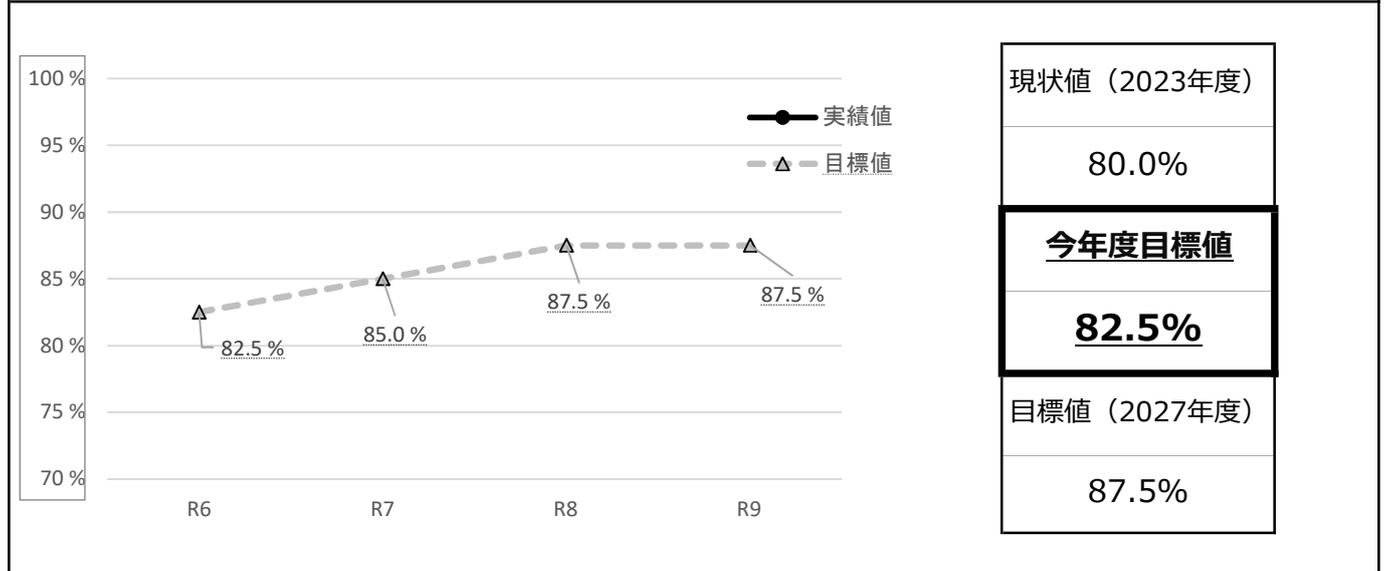
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 小学校においては、令和5年度「本を読もう！読書活動推進事業」の取組の中で実施した、学校図書館を活用した授業を市内全小中学校に拡充し、実施していくことで、不読率の低減を図ります。
 - 中学校では、電子書籍の導入に伴い、多様な子どもたちに対する読書機会の確保を進めます。
 - 鈴鹿市立図書館と共にイベントを企画したり、連携を図ったりすることで、子どもたちが図書館や本をより身近に感じられるように取組を進めます。
 - 子どもたちが自ら本を読みたいと思える学校図書館にするため、市内及び他縣市町の好事例を発信し、担当教員への助言を行います。
 - 「第4次鈴鹿市子ども読書活動推進計画」に則り、鈴鹿市推薦図書リストを更新します。
 - 学校図書館巡回指導員を学級数に応じて派遣し、全小中学校の学校図書館の環境整備を行うとともに、児童生徒の読書意欲の向上を図るために読み聞かせ等を行います。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画						
2027年度目標達成に向けて、現状値からの差で、目標値を設定した。	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>実行計画番号</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12103</td> <td>学校図書館巡回指導事業</td> </tr> <tr> <td>12105</td> <td>読書活動推進事業</td> </tr> </tbody> </table>	実行計画番号	事業名	12103	学校図書館巡回指導事業	12105	読書活動推進事業
実行計画番号	事業名						
12103	学校図書館巡回指導事業						
12105	読書活動推進事業						

施策の 基本的方向	1 確かな学力を身に付け、グローバルな視点で主体的に未来を創る子どもの育成
基本事業	1 - 5 就学前からの一貫した学びの充実
指標	「近隣等の校種の違う学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行ったか」という問いに「よく行った」「どちらかといえば行った」と回答した学校の割合【学校質問紙】

1 指標の目標等



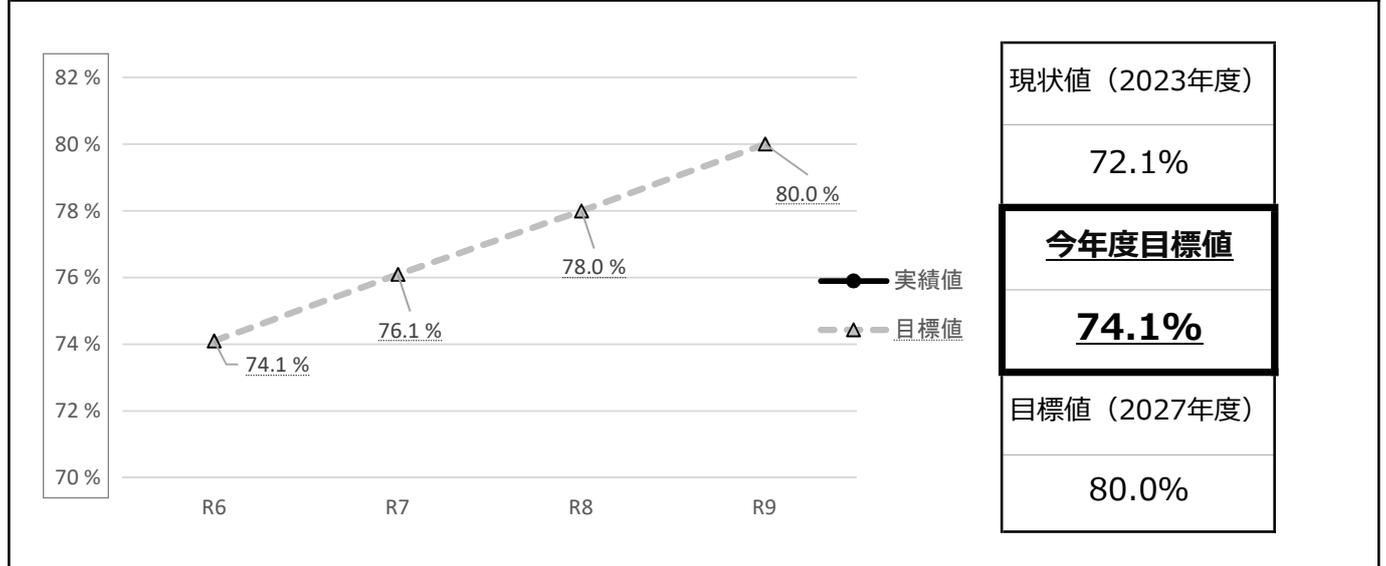
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 円滑な接続に向けて連携強化を図るために、小学校高学年における一部教科担任制及び中学校から小学校への乗り入れ授業の実施、児童と園児との交流等を行います。
 - 子どもの姿や課題、取組等を共有しながら研修体制づくりを進め、教育の質的向上を図るために、中学校区を基本とした校区の幼稚園・小学校・中学校において、各種研修会や会議等を実施します。また、小学校との円滑な接続につなげるため、幼稚園においては、保育所との研修を実施します。
 - 中学校区を中心として、小中一貫教育の実践を進めます。天栄中学校区では、各小学校の特徴を活かした「小中一貫教育ビジョン」を作成します。
 - 幼稚園においては、隣接する小学校との交流活動をはじめ、これまでに実践してきた小学校等との活動を再整理し、幼小の学びをつなぐ取組を進めたり、「幼保小の架け橋プログラム」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」等の観点を踏まえ、授業や保育を参観したりします。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画	
2027年度の目標値87.5%の達成に向け、年度毎の目標値をおよそ1校ずつ増（2.5ポイント）と設定した。	実行計画番号	事業名
	12102	教育研究推進支援事業

施策の基本的方向	1 確かな学力を身に付け、グローバルな視点で主体的に未来を創る子どもの育成
基本事業	1-6 キャリア教育及び主権者教育
指標	「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【児童生徒質問紙】

1 指標の目標等



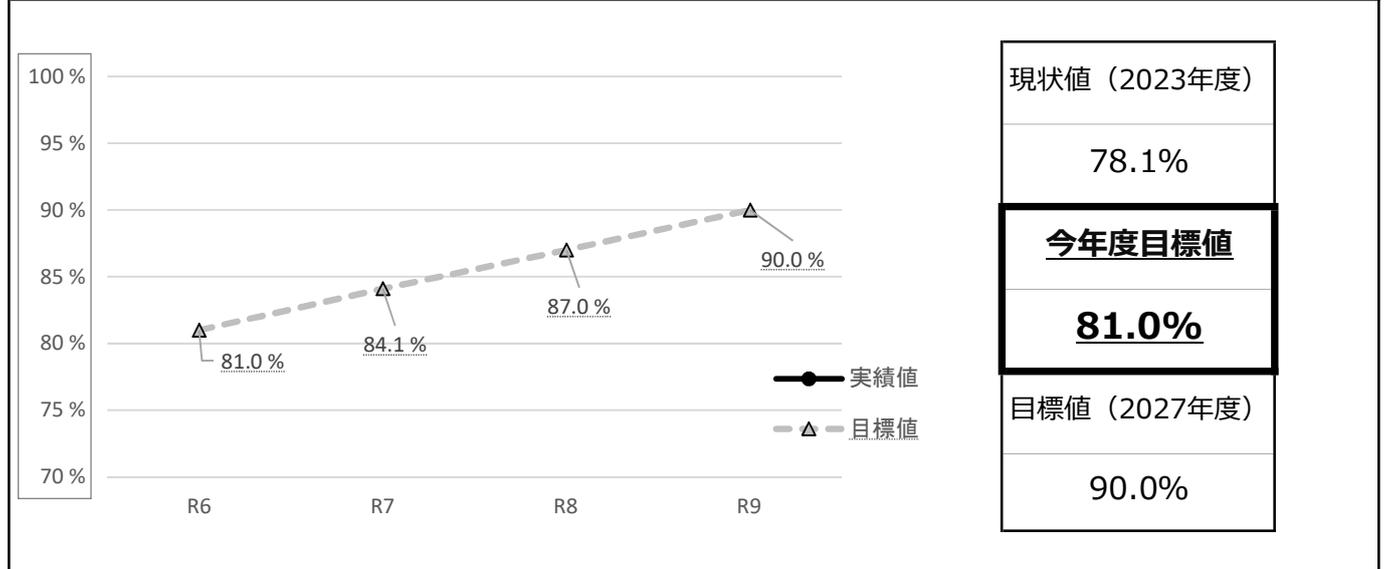
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 中学校では、職場体験学習を全校で実施し、望ましい勤労観や職業観の育成を図ります。
 - 主体的に自らの進路を選択決定できるよう、鈴鹿市版キャリアパスポートの活用を促進します。
 - 社会科や総合的な学習の時間を中心に、地域の諸課題について考える学習を充実します。
 - 選挙管理委員会事務局や議会事務局と連携を図り、模擬選挙や議場見学等の体験的活動を積極的に取り入れる等、市政の仕組みや議会等の活動に関心を高める活動の充実を図ります。
 - 主権者教育の充実に向けて、市独自の教材の内容の見直しを図るとともに、児童生徒の端末から自由にアクセスすることができるよう、教材のデジタル化に向けた取組を推進します。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画	
2027年度の目標値を80.0%に設定し、4年間でおよそ2ポイントずつの増加を目指す。	実行計画番号	事業名
	12109	生徒指導活動等事業

施策の 基本的方向	1 確かな学力を身に付け、グローバルな視点で主体的に未来を創る子どもの育成
基本事業	1-7 自ら学ぶ子どもの育成
指標	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【児童生徒質問紙】

1 指標の目標等



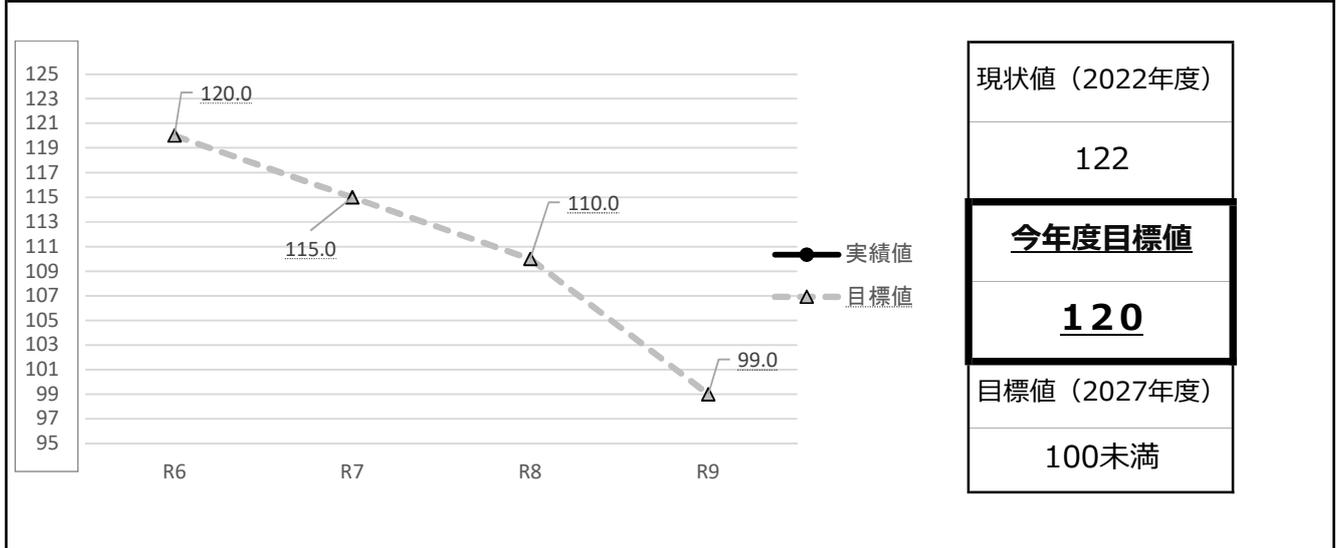
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 子どもが主体的に学ぼうとする学習の実現に向けて、教員の授業観の転換を図るために、「校内研修の進め方（教育指導課作成資料）」を活用した、各校園における校園内研修及びOJTの活性化や、学力向上支援員・指導主事・指導教諭による指導・助言等を行います。
 - 教科等横断的な学習や探究的な学習に係る市内等の先進的な取組について、研修講座、担当者会、たより及びサイトをとおして、市内全教職員に発信・共有します。
 - 教職員の資質・能力の向上をめざして、経験年数や職種に応じた研修及び今日的教育課題に対応した研修を実施します。また、教職員が学びやすい環境整備のために、従来の集合型研修に加え、オンライン研修、ハイブリッド型研修、動画視聴型研修を併用して実施します。
 - 教職員のICT活用指導力向上に向けて、ICTの効果的な活用例を担当者会や学校訪問で提供します。
 - 鈴鹿市がめざす教育の在り方を模索するため、研究委託を行います。
令和6年度発表校園（二年度）：旭が丘幼稚園、牧田小学校、椿小学校、千代崎中学校
令和7年度発表校（一年次）：石薬師小学校、愛宕小学校、大木中学校

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画
2027年度目標値達成に向けて、現状値からの差で、1年でおよそ3ポイント増をめざして目標値を設定した。	実行計画番号 事業名
	12104 学力向上支援事業

施策の 基本的方向	2 自己肯定感を高め、多様性を認め合う子どもの育成
基本事業	2-1 不登校対策
指標	全国の長期欠席人数の割合を100とした時の鈴鹿市の長期欠席人数の割合の値【児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査】

1 指標の目標等



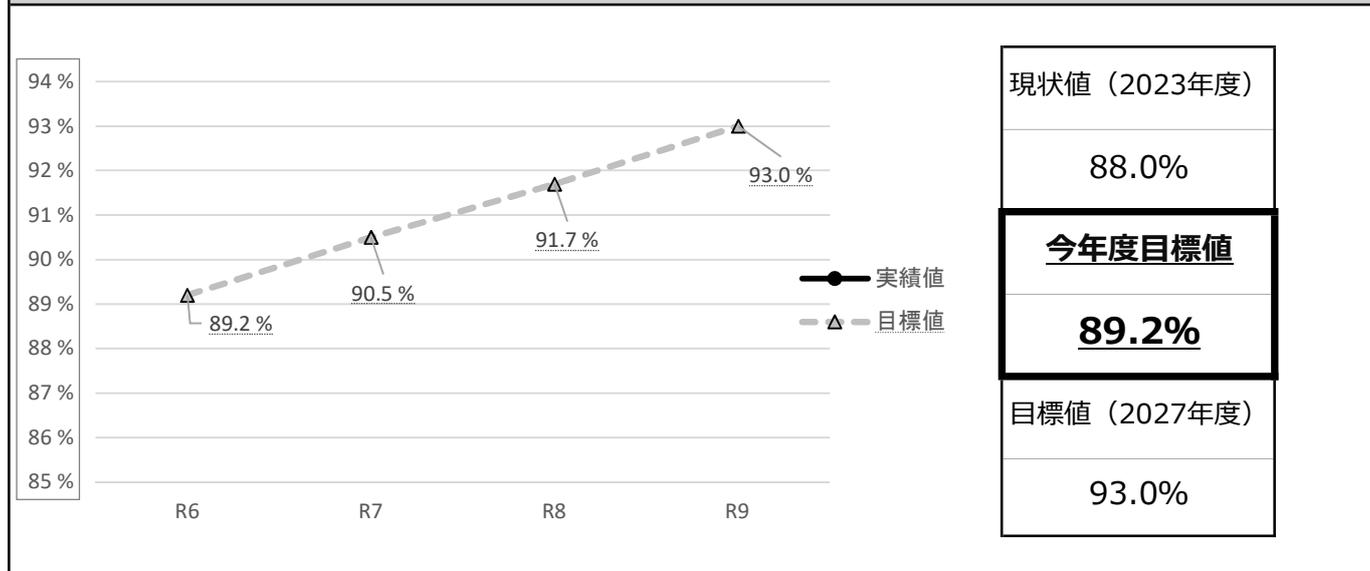
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 不登校支援担当者会を開催するとともに、スクールライフサポーターや不登校対策教育支援員、不登校支援アドバイザーなどを学校に派遣し、学校における長期欠席支援を行います。
 - 長期欠席（不登校を含む）の未然防止及び個別の支援が必要と考えられる児童生徒への支援を行うため、市に教育支援センター「けやき教室・さつき教室」を、また、中学校に校内サポート教室を小学校に「ほっとルーム」を設置し、不登校傾向の児童生徒に居場所を作ります。
 - 教職員の対応力向上を図るため、研修会等を計画的に実施します。
 - 不登校支援プロジェクト会議を開催し、学校現場の意見を取り入れることで効果的な不登校支援につなげます。
 - 不登校児童生徒理解のため、「子ども支援シート」の活用を促進します。
 - 三重県のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等が参加するケース会議、支援会議を実施することで不登校支援にかかる早期対応の充実を図ります。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画				
2023年度もなお、コロナ感染症拡大による児童生徒への影響は家庭環境の不安や対人関係の築きにくさ等に表れており、2023年度の数値は横ばいと考えられるため、目標値を120と設定した。 ※文科省の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」を指標としている。調査結果は翌年度の10月に発表されるため、数値は前年度のものである。	<table border="1"> <tr> <th>実行計画番号</th> <th>事業名</th> </tr> <tr> <td>12203</td> <td>不登校対策推進事業</td> </tr> </table>	実行計画番号	事業名	12203	不登校対策推進事業
実行計画番号	事業名				
12203	不登校対策推進事業				

施策の 基本的方向	2 自己肯定感を高め、多様性を認め合う子どもの育成
基本事業	2-2 いじめ防止対策
指標	「いじめをしない・させないよう、友だちとともに考え、行動しているか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【学校アンケート（児童生徒）】

1 指標の目標等



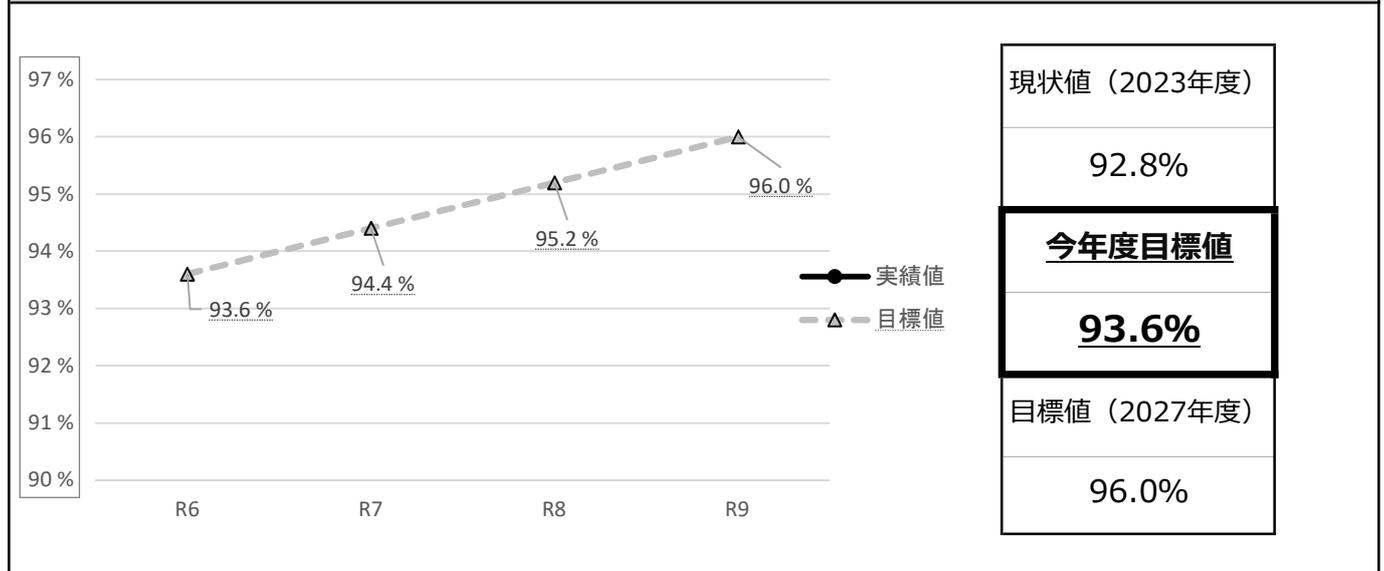
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- いじめを許さず、いじめを見抜く人権感覚を持った児童生徒の育成に取り組むとともに、人権を尊重する集団作りに取り組みます。
 - 教職員のいじめ問題への防止等に関する理解を深め、いじめの問題に対して、その実態に応じた適切な対処ができるなどの資質や能力の向上のため、研修会の充実を図ります。
 - いじめ防止対策推進法や県、市及び学校のいじめ防止基本方針に基づき、未然防止や早期発見、いじめ事案発生時の組織的対応などの積極的な支援を行います。
 - SNSを介したインターネット上のいじめに関する対策の推進を図るため、教育課程全体を横断した情報モラル教育などを通して、未然防止に取り組みます。
 - アンケート調査（学期に1回以上）や個人面談、教育相談の充実を図り、児童生徒が自らSOSを発信できる環境を構築します。
 - 三重県のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等による相談体制の充実や「いじめ電話相談」「子どもSNS相談みえ」等の相談機関の紹介を行います。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画
「やや当てはまらない」と答えている児童生徒の60%が4年後に肯定的な意見となるよう目標値を設定している。したがって、今年度15%の子どもたちが肯定的意見になるよう目標値を設定した。	実行計画番号 事業名
	12204 いじめ防止対策推進事業

施策の 基本的方向	2 自己肯定感を高め、多様性を認め合う子どもの育成
基本事業	2-3 生徒指導
指標	「学校やクラスのルールやきまりを理解し守ることができているか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【学校アンケート（児童生徒）】

1 指標の目標等



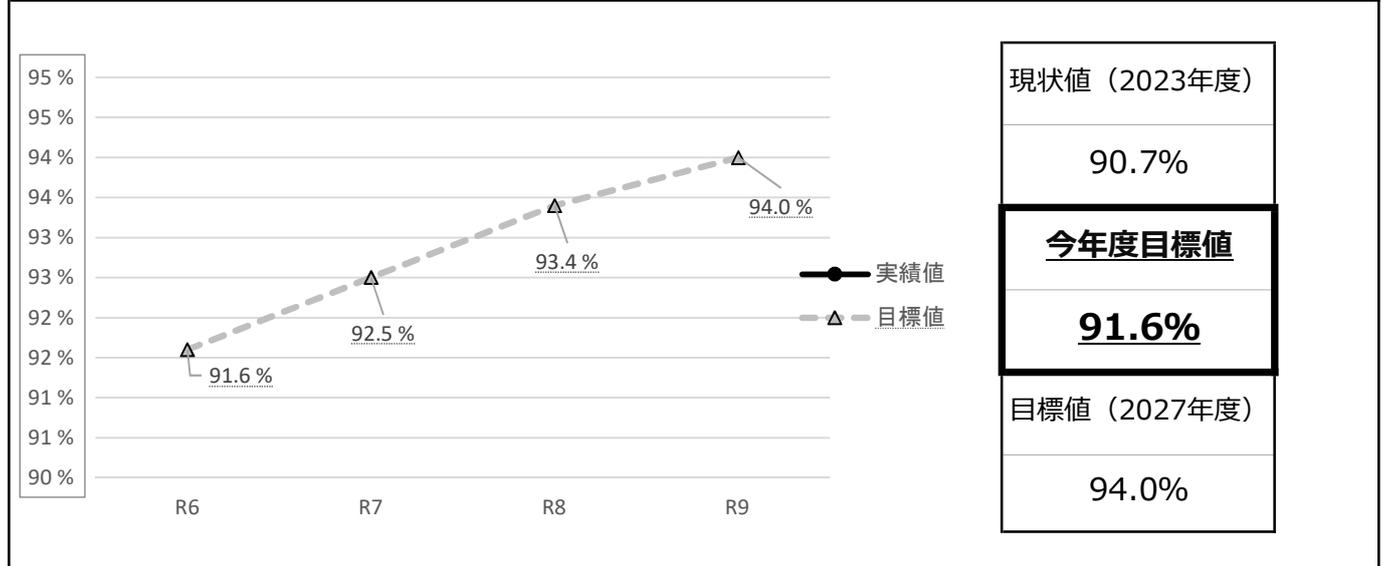
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 生徒指導の実践上の視点（自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成）をあらゆる教育活動に取り入れ、教員の児童生徒理解と児童生徒との信頼関係に基づく組織的な生徒指導体制を構築します。
 - 生徒指導担当者会（年間6回）や生徒指導の実践に繋がる研修を実施し、教員の研鑽を支援します。
 - 校則の見直しやいじめ防止の取組等、生徒会及び児童会が中心となった児童生徒の主体的な取組を推進します。
 - 中学校では生徒会研修会を実施し、各校の取組を交流することで、自校の取組に生かします。
 - 生徒指導アドバイザーが組織的な生徒指導体制について各校に助言します。
 - 鈴鹿警察署や鈴鹿児童相談所、鈴鹿市子ども家庭支援課などの関係機関等と連携した生徒指導の取組を推進します。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画	
「やや当てはまらない」と答えている児童生徒の60%が4年後に肯定的な意見となるよう目標値を設定している。したがって、今年度15%の子どもたちが肯定的意見になるよう目標値を設定した。	実行計画番号	
	事業名	
	12205	健全育成事業
	12401	学校支援チーム事業
	12402	青少年対策諸事業
	12403	補導活動事業

施策の 基本的方向	2 自己肯定感を高め、多様性を認め合う子どもの育成
基本事業	2-4 人権教育
指標	「差別をなくすために何かできることをしたいか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【学校アンケート（児童生徒）】

1 指標の目標等



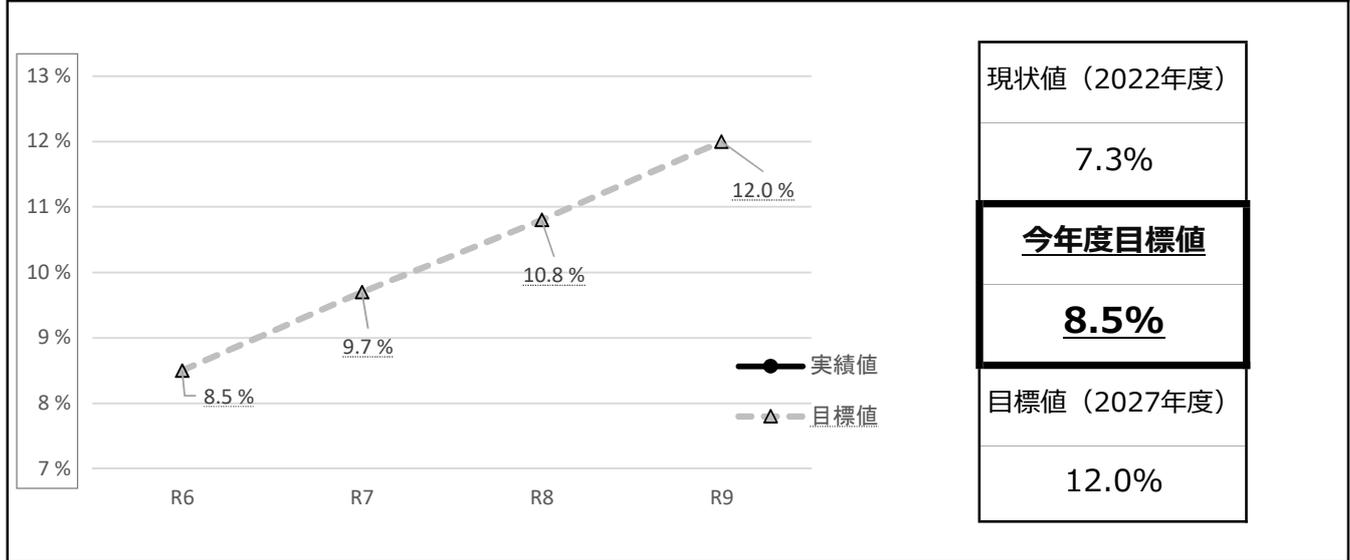
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 学校・園では、子どもの実態をもとにした人権教育推進計画や人権教育カリキュラムに基づき、教育活動全体を通じた人権教育を計画的・組織的に進めます。
 - 中学校区子ども人権フォーラムを開催し、中学校区で子ども人権ネットワークづくりを進めます。
 - 学校・園の人権教育推進に向けて、人権教育センター職員による研修会等の支援に取り組みます。
 - 障がいや国籍など、様々な背景をもつ子どもたちが、遊びや活動を通じて交流できる居場所づくりに取り組みます。
 - 教職員の人権意識の高揚を図るため、研修会を行います。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画
「やや当てはまらない」と答えている児童生徒の60%が4年後に肯定的な意見となるよう目標値を設定している。したがって、今年度15%の子どもたちが肯定的意見になるよう目標値を設定した。	実行計画番号
	事業名
	12201 学校人権教育事業
	12206 人権教育センター子どもの居場所づくり事業
	12251 人権教育センター管理運営事業

施策の 基本的方向	2 自己肯定感を高め、多様性を認め合う子どもの育成
基本事業	2 - 5 特別支援教育
指標	全児童生徒において、個別の指導計画を作成している児童生徒の割合【三重県独自調査】

1 指標の目標等



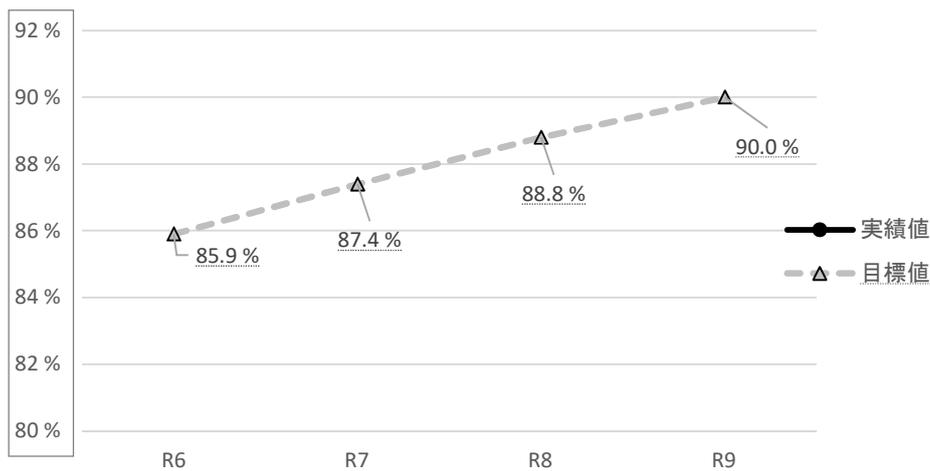
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 引継体制の充実及び途切れのない支援を行うために、特別支援教育コーディネーターを中心に、5歳児健診後のフォロー等、学校・幼稚園・保育所及び「すずっこスクエア」と連携し、有効な支援を検討し、行います。
 - 「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を含む「すずっこファイル」を作成し、進学や転学・進級時の際の引継ぎや個に応じた効果的な支援に活用します。
 - 特別支援教育に関する教員の専門性の向上及び通常学級に在籍する児童生徒への教育にも生かすため、研修会等を計画的に実施します。
 - 個に応じた適切な支援を講じ、学習面及び生活面で困り感を抱える児童生徒の状況改善を図るため、通級指導教室における巡回指導、アウトリーチの取組を行います。
 - 本市の特別支援教育の充実に向けて、大学教授や校長等で構成されるプロジェクト会議を開催し、特別支援教育の推進に向けた、より良い方策等を検討し、全小中学校で実践します。
 - 特別支援学校や関係機関と連携し、児童生徒の実態に応じた教育課程を編成できるよう、指導助言を行います。
 - 医療、保育、教育を担当する機関が緊密な連携を図り、就学後の円滑な医療的ケアの充実につなげるために、医療的ケア運営協議会を開催し、ガイドラインに沿った運営の検証、保護者への周知方法の検討を行います。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画	
現状値（2022年度）が7.3%であったことから、5年間で12.0%とすることを踏まえ、目標値8.5%と設定をした。	実行計画番号	事業名
	12207	特別支援教育事業

施策の 基本的方向	2 自己肯定感を高め、多様性を認め合う子どもの育成
基本事業	2-6 日本語教育及び多文化共生教育
指標	「多くの国の人と友だちになったり、自分の国以外の国のことについてもっと知りたいと思いたいと思うか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【学校アンケート（児童生徒）】

1 指標の目標等



現状値（2023年度）	84.5%
今年度目標値	85.9%
目標値（2027年度）	90%

2 今年度の活動計画等

◆年間の活動計画

- 外国人児童生徒等が理解しやすい授業を学校全体で行うため、国際教室担当者と日本語教育担当者とは連携した授業づくりを行います。
- 日本語教育コーディネーターや日本語指導経験者が中心となる研修会等を実施し、教員の指導力向上・校内支援体制のさらなる充実を図ります。
- 多文化共生教育担当者が中心となり、すべての児童生徒が、多様な文化、価値観について興味関心を高め、互いを理解し合える取組を学校全体で進めます。
- 多文化共生教育実践EXPOを開催し、各校の多文化共生教育の実践交流を行います。
- 日本語教育支援プロジェクト会議を開催し、国際教室における日本語の初期指導、在籍学級における日本語教育等を推進します。

◆今年度目標値の設定根拠

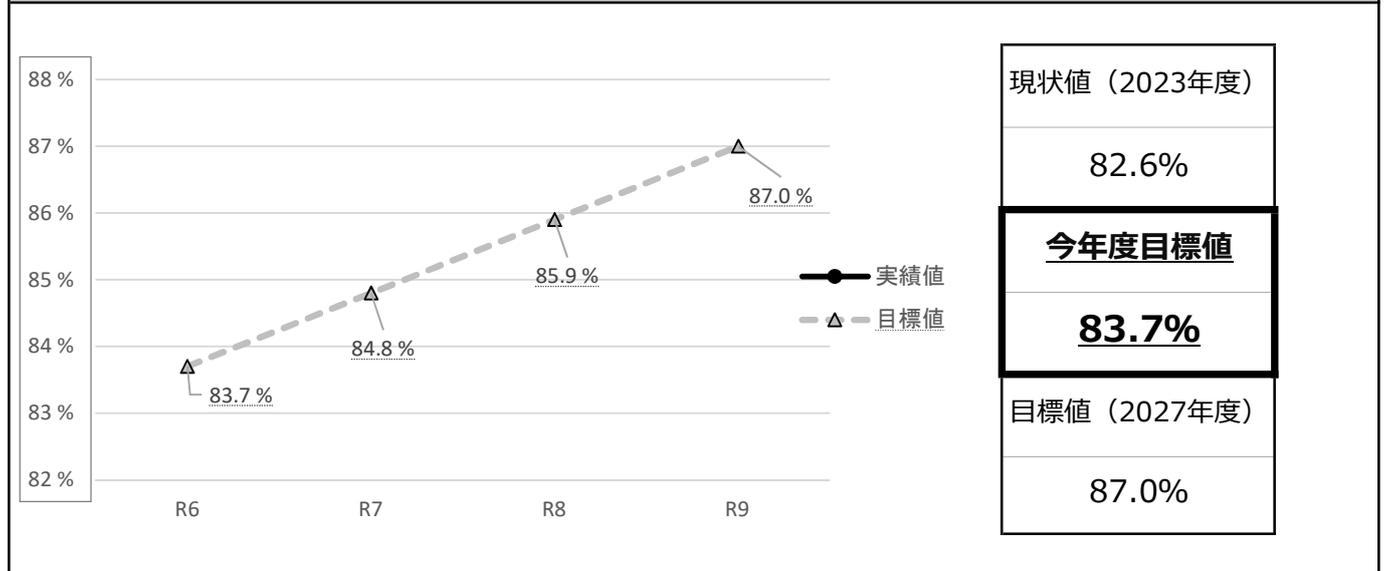
「やや当てはまらない」と答えている児童生徒の60%が4年後に肯定的な意見となるよう目標値を設定している。したがって、今年度15%の子どもたちが肯定的意見になるよう目標値を設定した。

3 関連する総合計画2031の実行計画

実行計画番号	事業名
12202	外国人児童生徒サポート事業

施策の 基本的方向	2 自己肯定感を高め、多様性を認め合う子どもの育成
基本事業	2-7 道徳教育
指標	「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいるか」という質問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【児童生徒質問紙】

1 指標の目標等



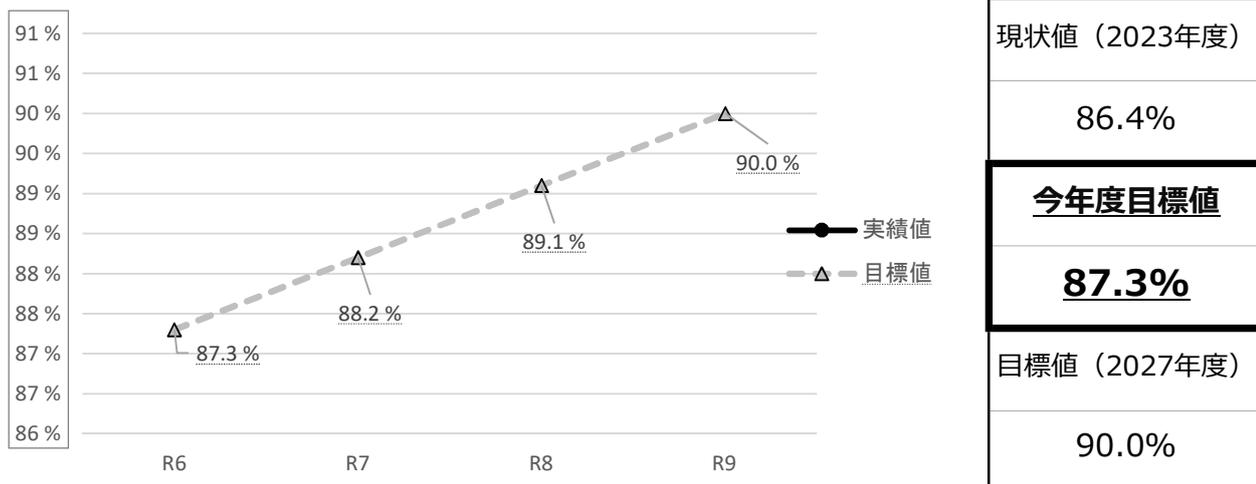
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 子どもたちが自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えられる授業を行うために、教職員の研修の充実を図ります。
 - 学校教育活動全体を通じた道徳教育を行うために、各校における道徳教育カリキュラムの確実な作成を行います。
 - 授業改善を行うために、指導主事が各校の授業を参観し、好事例を市内に発信します。
 - 全教育活動を通じて道徳教育を行えるよう、道徳教育担当者会を通じて、各校におけるカリキュラムマネジメントを踏まえた年間指導計画を作成します。また、「考え、議論する道徳」の実践につなげるために、担当者会で授業参観を実施し、協議します。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画	
近年の値は横ばいである。そのため、1年間に1.1ポイントずつ上げることが目標としている。	実行計画番号	事業名
	12104	学力向上支援事業

施策の 基本的方向	3 心身の健康を自ら育み、豊かな感性を身に付けた子どもの育成
基本事業	3-1 心身の健康と食に関する教育
指標	運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは「好き」「やや好き」と回答した児童生徒の割合【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】

1 指標の目標等



2 今年度の活動計画等

◆年間の活動計画

- 運動遊びの充実を図るため、園児の発達段階を踏まえながら、幼児の体力向上実践プログラム「きらきらタイム」に取り組みます。
- 各学校において、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果分析を基に、授業改善や体力向上に向けた日常的な体育活動に取り組みます。
- 外部指導者を活用した健康教育出前講座や小中学校における教科指導、保健だよりの発行などにより、疾病予防や生活習慣病対策の啓発に取り組みます。
- 食に関する知識や指導方法の向上に資するよう、食育担当者会を実施します。また、全体指導計画に基づき、学校給食を「生きた教材」として活用するなど、残食量の削減や食生活・生活習慣の改善に向けて、栄養教諭等と連携した食に関する授業及び「食育月間」「食育の日」の取組を各校で実施します。
- 児童の確かな水泳技能習得のために、学校外プール施設も併用しながら水泳授業を実施します。

◆今年度目標値の設定根拠

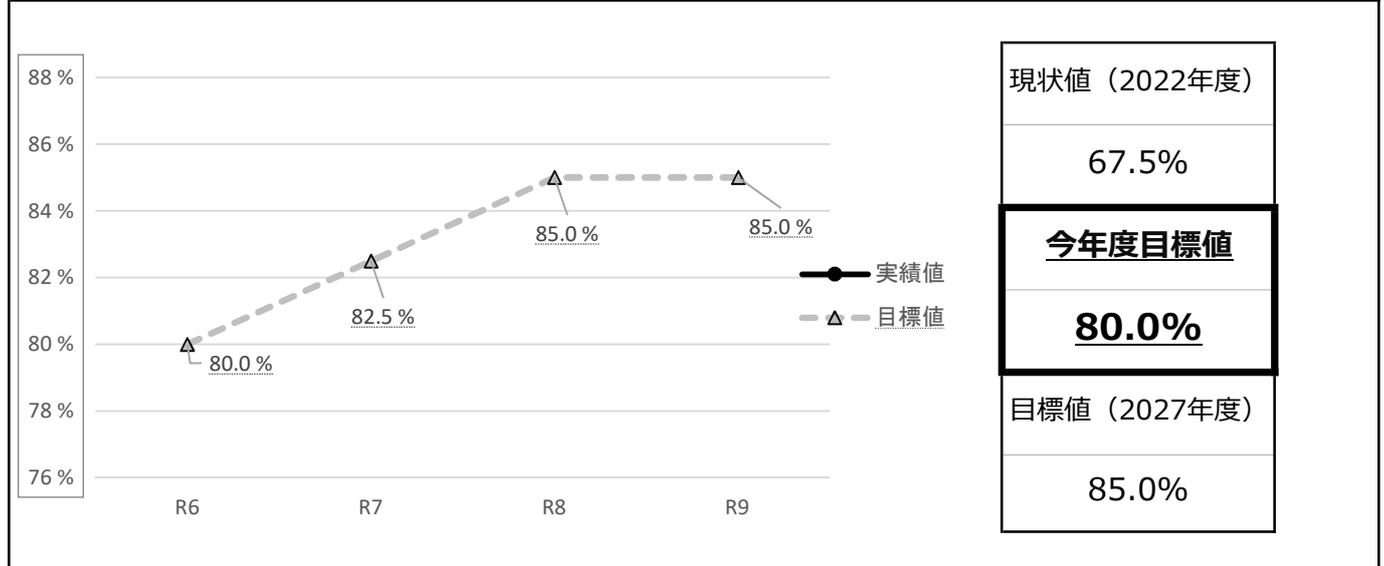
2023年度の現状値は86.4%であったため、2027年度の目標値90.0%に向け、年間0.9ポイント増を目標として設定した。

3 関連する総合計画2031の実行計画

実行計画番号	事業名
12304	教育活動事業
12305	学校保健事業

施策の 基本的方向	3 心身の健康を自ら育み、豊かな感性を身に付けた子どもの育成
基本事業	3-2 文化・芸術活動
指標	「未来応援人」を活用した学校の割合

1 指標の目標等



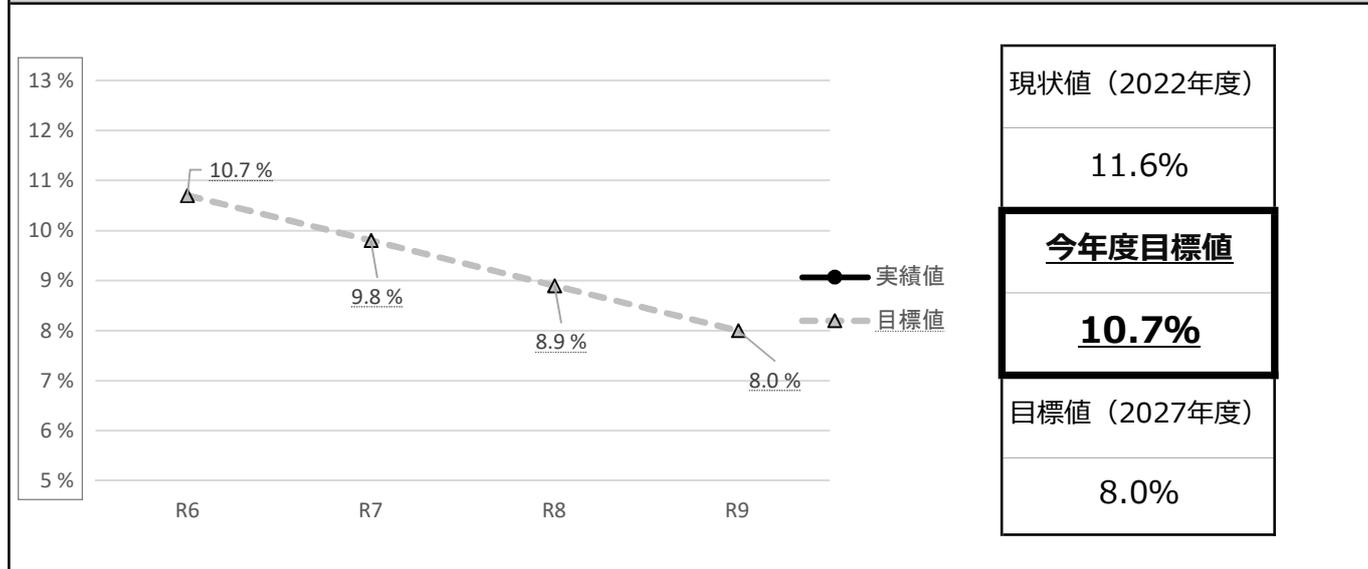
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 芸術活動の発表の機会を充実させるため、地域や関係団体等と連携し、美術作品展や科学作品展、書写展、小学校及び中学校音楽会を全市的に実施します。
 - 文化・芸術及び伝統文化や生活文化等を計画的・継続的に体験できる機会を提供するために、「未来応援人」事業を活用し、学校・園の要請に応じた講師を派遣します。
 - 中学校区での文化・芸術活動の交流について、ICTの活用も含め、実践事例を発信します。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画	
2027年度の目標値を設定する際、2022年度の実績値67.5% (27校) を基準に、85.0% (34校) と設定した。2023年度の現状値は77.5% (31校) であったこと及び従来の「すずか夢工房」から「未来応援人」に変更したことに伴う内容の充実を踏まえ、2026年度での目標値の修正を視野に入れながら、1年に1校の増加を目標として設定した。	実行計画番号	事業名
	12302	未来応援人事業
	12304	教育活動事業

施策の基本的方向	3 心身の健康を自ら育み、豊かな感性を身に付けた子どもの育成
基本事業	3-3 安全・安心で安定的な学校給食の提供
指標	中学校給食における副菜の残菜率

1 指標の目標等



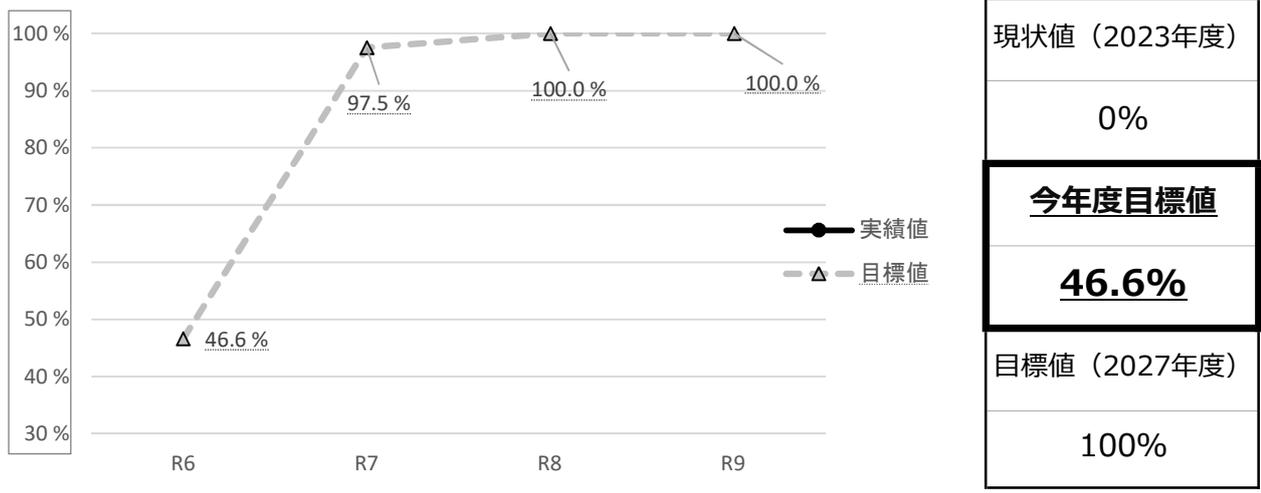
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 安全・安心で安定的な学校給食を提供するため、衛生管理面では調理員等関係職員の検便実施、各給食調理施設の衛生検査、害虫等予防、職員研修等を、食物アレルギー対応面では保護者とのアレルギー確認の徹底や保護者・教職員・児童生徒との該当児童生徒のアレルギー情報の共有による給食提供時の安全確認等の連携を、施設保全の面では設備・備品の適切な維持管理を行います。
 - 児童生徒の学校給食に対する意識（献立、喫食状況、給食指導、嗜好や家庭の食生活等）に関してアンケート調査を行い、残菜率改善の目標値達成に向けた取組の柱や中期的な方向性、具体的な取組内容等を定めます。
 - 学校給食費の徴収事務において収納率の向上と業務の効率化を図るため、民間事業者へ電話催告業務を委託します。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画										
計画期間の4年間に3.6%の残菜率の改善を目標としていることから、0.9%/年の改善を図ることを目標として設定した。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実行計画番号</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12301</td> <td>学校給食費管理事業</td> </tr> <tr> <td>12351</td> <td>給食調理室運営事業</td> </tr> <tr> <td>12352</td> <td>学校給食センター管理運営事業</td> </tr> <tr> <td>12353</td> <td>第二学校給食センター管理運営事業</td> </tr> </tbody> </table>	実行計画番号	事業名	12301	学校給食費管理事業	12351	給食調理室運営事業	12352	学校給食センター管理運営事業	12353	第二学校給食センター管理運営事業
実行計画番号	事業名										
12301	学校給食費管理事業										
12351	給食調理室運営事業										
12352	学校給食センター管理運営事業										
12353	第二学校給食センター管理運営事業										

施策の 基本的方向	4 家庭・地域とともに子どもの成長を支える教育環境づくりの推進
基本事業	4-1 休日の部活動地域移行
指標	休日の部活動地域移行実施率 (休日に活動している部活動のうち、移行ができた部活動の割合) 【独自調査】

1 指標の目標等



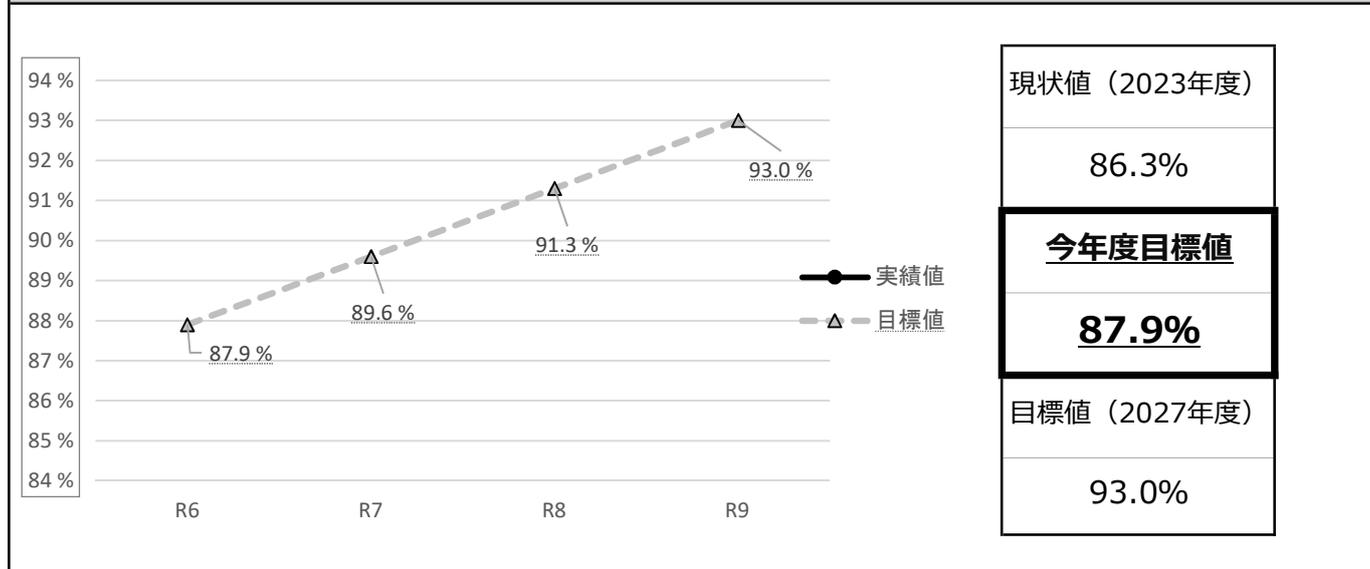
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 他市町の好事例の共有を図るとともに、地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた体制整備を進めるために、指導者の確保方法及び種目別の適した拠点数などについて調査研究を行います。
 - 休日に活動している学校部活動の内、8活動（陸上競技、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、バドミントン、ソフトボール、剣道、合唱）について、関係団体等と連携を図りながら、地域移行のモデル事業を実施します。
 - 地域移行に係る協議会を開催し、モデル事業の効果検証を図るとともに、様々な立場から意見を聴取し、受益者負担額及び移動手段等について検討します。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画
休日に活動している14の学校部活動を段階的に地域へ移行し、2026年度には、全活動の地域への完全移行を目標としている。今年度は個人種目や設置数の少ない種目を中心に地域移行のモデル事業を計画し、目標値を46.6%（休日に活動している118部活動のうち55部活動）と設定した。	実行計画番号
	事業名
	12303 部活動振興事業
	12406 部活動地域移行推進事業

施策の基本的方向	4 家庭・地域とともに子どもの成長を支える教育環境づくりの推進
基本事業	4-2 地域とともにある学校づくり
指標	「学校と地域が連携した取組が行われているか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した保護者の割合【学校アンケート（保護者）】

1 指標の目標等



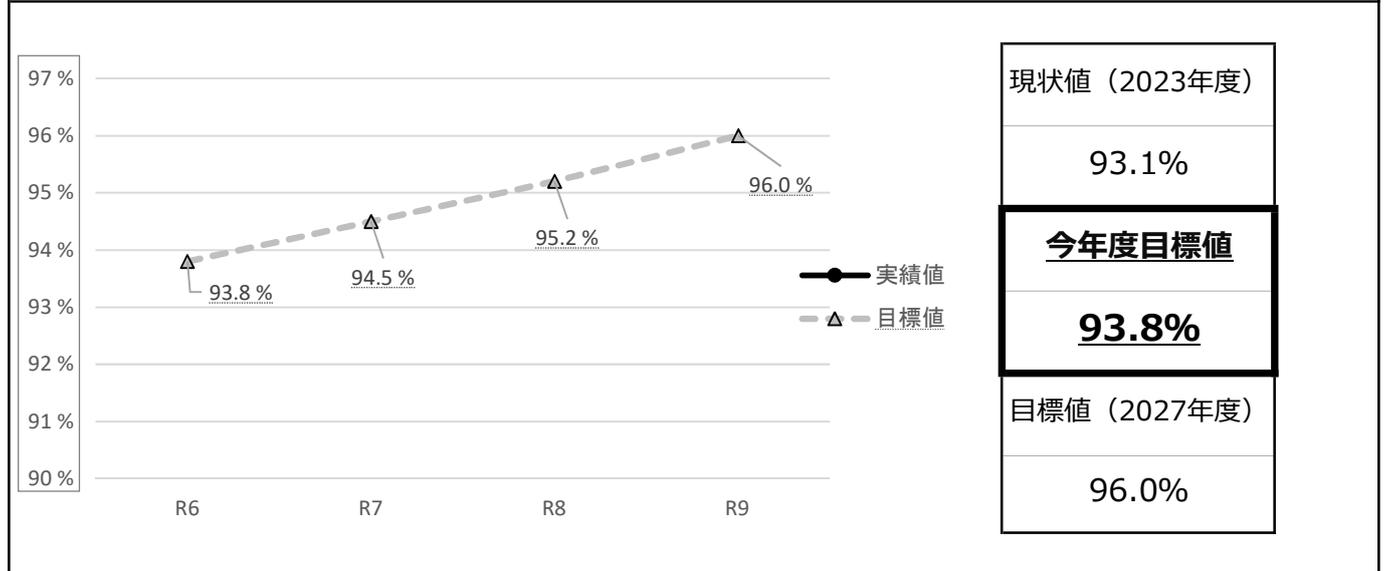
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 学校運営協議会等の中で教育課題を共有・協議し、家庭、地域、学校がそれぞれの立場から、主体的に地域の子どもの成長を支える「協働型」のコミュニティ・スクールの実践を推進します。
 - 学校運営協議会委員や地域コーディネーター等の共通認識を深め、より効果的な協働を図るために、有識者による講演会や先進地域の取組に関する研修会を実施します。
 - 学校支援ボランティア等、地域の方々の協力を得ながら、地域と学校をつなぎ、地域から信頼される学校づくりを推進します。
 - 各校の学校運営協議会にコミュニティ・スクール推進コーディネーターを派遣し、「協働型」のコミュニティ・スクールの実践について助言します。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画	
「やや当てはまらない」と答えている保護者の60%が4年後に肯定的な意見となるよう目標値を設定している。したがって、今年度15%の保護者が肯定的意見になるよう目標値を設定した。	実行計画番号	事業名
	12405	コミュニティ・スクール推進事業

施策の 基本的方向	4 家庭・地域とともに子どもの成長を支える教育環境づくりの推進
基本事業	4-3 安全・安心の学校づくり
指標	「危険なことから自分たちを守るため、安全な行動を取っているか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【学校アンケート（児童生徒）】

1 指標の目標等



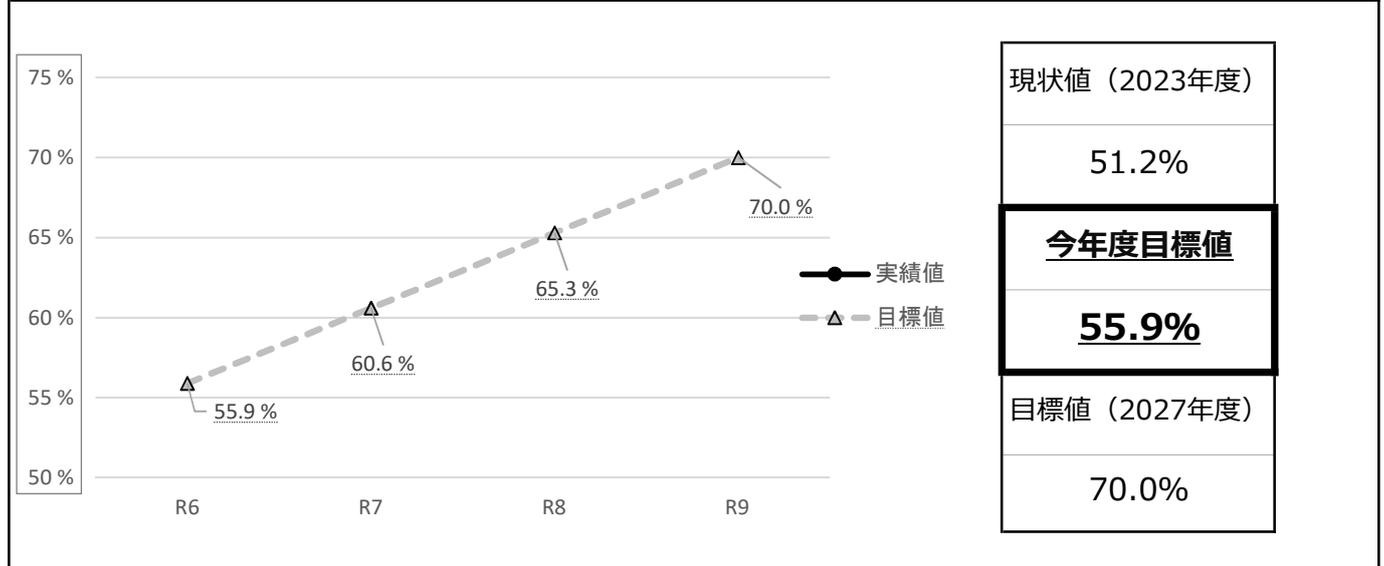
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 「交通安全教室」や「防犯教室」「不審者侵入対応訓練」等に警察や関係団体と連携して取り組みます。
 - 児童生徒の適切な判断力、主体的な行動力を育成するため、防災・減災に関する意識や知識の向上を図り、講演や防災訓練、女川中学校との交流等の取組を通じて、防災・減災教育を行います。
 - 青色回転灯等装備車によるパトロールの実施、安全安心ボランティア等との連携、保護者や地域住民とともに防炎教育、「鈴鹿市公式LINE」システムの活用などにより、子どもたちを守る体制の整備を行います。
 - 道路管理者や警察などの関係機関と連携し、鈴鹿市通学路交通安全プログラムに基づく通学路の合同点検や危険箇所の改善に取り組みます。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画
「やや当てはまらない」と答えている児童生徒の60%が4年後に肯定的な意見となるよう目標値を設定している。したがって、今年度15%の子どもたちが肯定的意見になるよう目標値を設定した。	実行計画番号
	事業名
	12404 安全安心ネットワーク推進事業
	12407 復興教育支援事業

施策の 基本的方向	4 家庭・地域とともに子どもの成長を支える教育環境づくりの推進
基本事業	4-4 郷土教育及び環境教育
指標	「今住んでいる地域の行事に参加しているか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【児童生徒質問紙】

1 指標の目標等



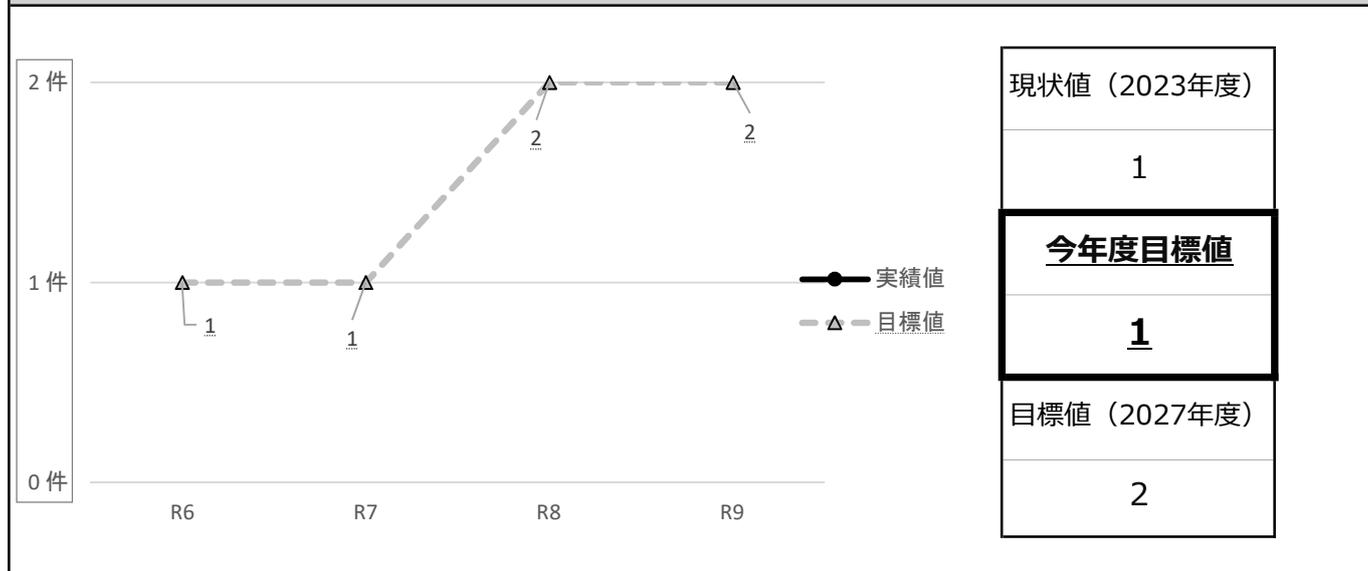
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 地域の良さや歴史、文化、豊かな自然を学ぶため、地域の人材や社会教育施設等を活用した体験学習に関する情報を発信します。
 - 地域教材のさらなる開発、ICT機器を活用した教材の動画配信及び教職員対象のフィールドワーク等に取り組みます。
 - 体験的活動を通して環境課題への理解を深め、主体的に行動する態度を育成するため、チャレンジ・エコスクールや学校環境デー等に、各校で取り組みます。また、学校緑化推進事業等、地域等との連携を深める取組を実施します。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画						
2027年度目標値達成に向けて、現状値からの差で、目標値を設定した。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実行計画番号</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12104</td> <td>学力向上支援事業</td> </tr> <tr> <td>12106</td> <td>小学校教育推進事業</td> </tr> </tbody> </table>	実行計画番号	事業名	12104	学力向上支援事業	12106	小学校教育推進事業
実行計画番号	事業名						
12104	学力向上支援事業						
12106	小学校教育推進事業						

施策の 基本的方向	5 学校環境の整備・充実
基本事業	5-1 学校規模の適正化
指標	再編計画の策定数

1 指標の目標等



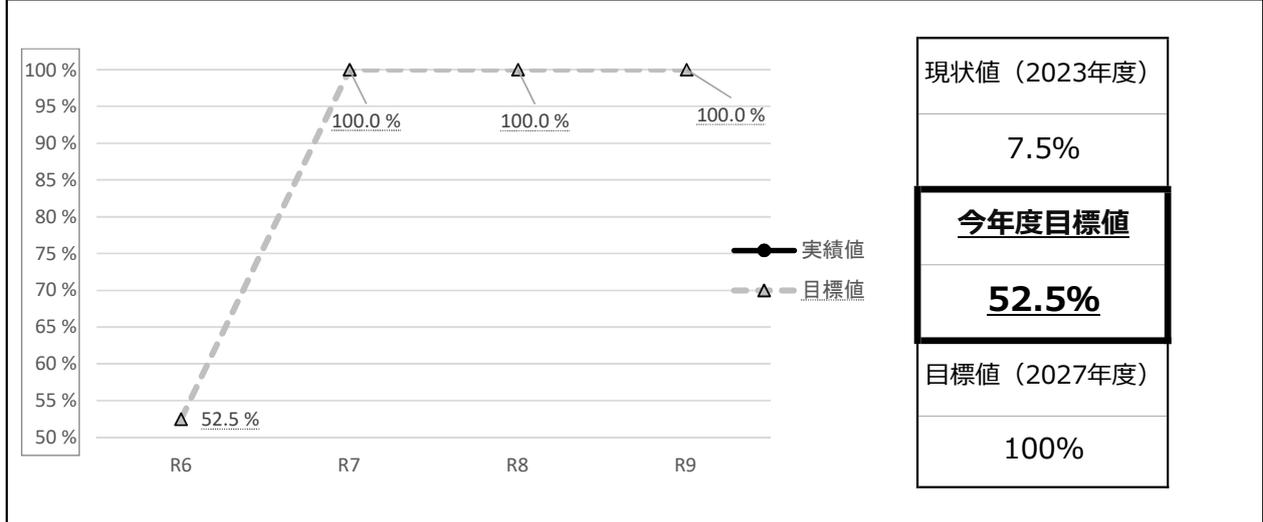
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 今後20年間の児童生徒数・学級数の推移を的確に把握するために、20年推計を作成します。
 - 20年推計を基に、今後、複式学級の発生が予測される過小規模校について、保護者や地域への現状説明を行い、今後のあり方について、意見聴取などを行い、今後の方向性を検討します。
 - 「天栄中学校区における学校再編計画」に基づき、準備委員会を設置し、保護者や地域とともに、具体的な検討を行います。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画	
今年度は、20年推計を作成し、保護者、地域への説明と意見聴取などを行い、方向性を検討する段階であることから現状値のとおりとした。	実行計画番号	事業名
	12501	教育推進事業

施策の 基本的方向	5 学校環境の整備・充実
基本事業	5-2 施設等の環境整備
指標	屋内運動場に空調設備を設置した学校の割合

1 指標の目標等



2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 学校施設・設備の老朽化対策として、「鈴鹿市公共建築物個別施設計画」に基づき整備を進めます。
 - 学校給食センターの老朽化対策として、大規模改修（設備改修・厨房機器更新）を行います。
 - 屋内運動場への空調設備の推進として、低コスト送風型エアコンを17校、通常エアコンを1校に設置することを進めます。
 - 小中学校のトイレ洋式化の推進として、「鈴鹿市公共建築物個別施設計画」に基づき整備を進めます。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画																						
今年度は、屋内運動場に空調設備を17校に設置する計画としているため、今年度の目標値を52.5%と設定した。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実行計画番号</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>12502</td><td>河曲小学校施設整備事業</td></tr> <tr><td>12503</td><td>小学校教育施設環境整備事業</td></tr> <tr><td>12504</td><td>小学校学校施設長寿命化・大規模改造事業</td></tr> <tr><td>12505</td><td>中学校教育施設環境整備事業</td></tr> <tr><td>12506</td><td>大木中学校施設整備事業</td></tr> <tr><td>12507</td><td>中学校学校施設長寿命化・大規模改造事業</td></tr> <tr><td>12508</td><td>学校給食センター施設改修事業</td></tr> <tr><td>12551</td><td>小中学校警備事業</td></tr> <tr><td>12552</td><td>小学校施設管理事業</td></tr> <tr><td>12553</td><td>中学校施設管理事業</td></tr> </tbody> </table>	実行計画番号	事業名	12502	河曲小学校施設整備事業	12503	小学校教育施設環境整備事業	12504	小学校学校施設長寿命化・大規模改造事業	12505	中学校教育施設環境整備事業	12506	大木中学校施設整備事業	12507	中学校学校施設長寿命化・大規模改造事業	12508	学校給食センター施設改修事業	12551	小中学校警備事業	12552	小学校施設管理事業	12553	中学校施設管理事業
実行計画番号	事業名																						
12502	河曲小学校施設整備事業																						
12503	小学校教育施設環境整備事業																						
12504	小学校学校施設長寿命化・大規模改造事業																						
12505	中学校教育施設環境整備事業																						
12506	大木中学校施設整備事業																						
12507	中学校学校施設長寿命化・大規模改造事業																						
12508	学校給食センター施設改修事業																						
12551	小中学校警備事業																						
12552	小学校施設管理事業																						
12553	中学校施設管理事業																						